2025 年度

事業報告

（自　：　2025 年 4 月 1 日
至　：　2026 年 3 月 31 日）

公益財団法人　在宅医療助成
勇美記念財団

Ⅰ．基本方針

2022 年度に開催した「財団設立 20 周年記念式典」において、財団として、これからの社会の変容を見据え、団塊ジュニア世代がすべて 65 歳以上となる 2040 年（65 歳以上の人口が 4,000 万人、85 歳以上の人口が 1,000 万人となり、国内の死亡者数が約 170 万人と予測される）に向けて「2040 年に向けて、これから当財団が取り組むべき課題」（以下の資料参照）を明示した。この基本方針を踏まえ、2024 年度に、将来を見据えてその方向について専門部会で検討を重ね、2025 年度は、今後の在宅医療の未来を見据えて、2040 年の医療システム像、医療像をあらゆる在宅医療の視点から取り組みを進め始めたところである。

参考：大学の医学教育に在宅医療教育を更に取入れていただくための取組

○　2025 年 4 月 19 日　日本内科学会総会シンポジウム
「在宅医療に関わる内科医」
司会：井口清太郎氏（新潟大学）、高橋毅氏（東岩槻ファミリークリニック）
総合討論：指定発言　辻哲夫氏　他

○　2025 年 7 月 25 日　日本医学教育学会シンポジウム
「素養としての在宅医療・学術としての在宅医療教育」
座長：井口清太郎氏（新潟大学）、大脇哲洋氏（鹿児島大学）
基調講演　大島伸一氏　他

2040年に向けて、これから当財団が取り組むべき課題

課　題	内　容
1．更なる在宅医療の提供体制の拡大	① 0歳から100歳までの対応を可能とする在宅医療提供体制の確立
	② 全世代型地域包括ケアシステムの構築
2．これからの在宅医療を担う人材の育成	① 若手医師を含めた、在宅医療を実践する医師の育成
	② 在宅医療を理解し、在宅ケアを担う多職種の育成
3．在宅医療の質の向上	① 在宅医療に関する学術的研究、論文化への取組の強化
	② 在宅医療の標準化の検討
4．行政、関係機関等との連携強化	① 2024年4月からの第８次医療計画（地域の実情に応じた医療提供体制の確保・かかりつけ医の機能の明確化・医療介護連携等）実施に向けた行政、関係機関等との連携強化

※「財団設立 20 周年記念式典（2022 年 9 月 19 日開催）」の開会挨拶スライドを改変

Ⅱ．管理運営方針

公益財団法人として関係法令等を遵守し、適切な管理及び事業運営ができるよう努めた。また、定款に定められた各事業について、2025 年度事業計画に基づき実施した。

Ⅲ．事業報告

当財団の定款に従い、以下の事業を実施した。

１． 公益目的事業１

提供者側・利用者側双方の視点からの在宅医療等に関する調査研究への助成

公益目的事業２

在宅医療等に関する人材養成のための研修及びセミナーなどの事業への助成

（１） 公募助成事業

選考委員会において検討を行った後、理事会において決定した公募助成の申請、採択件数及び助成金額は、下表のとおり。

〔表：2025 年度（通期）公募助成の採択件数及び助成金額〕　　（単位：円）

区分	公募名	予算	申請件数	採択件数	助成金額
公益目的事業１	一般公募	40,000,000	117	44	32,967,473
	一般公募【論文枠】	8,000,000	22	9	6,251,580
公益目的事業１　計		48,000,000	139	53	39,219,053
公益目的事業２	「市民の集い」	8,000,000	46	22	5,904,305
	「多職種研修会」	10,000,000	47	25	10,394,568
	「学会等への助成」	15,000,000	45	27	12,674,984
	「モデル研修」	4,000,000	3	3	4,000,000
公益目的事業２　計		37,000,000	141	77	32,973,857
合計		85,000,000	280	130	72,192,910

※（後期）【論文枠】一般公募「在宅医療推進のための研究」１件 533,000 円は、採択後に辞退があった。

（２）成果物評価事業〔勇美賞〕

一般公募「在宅医療推進のための研究」の完了報告書（2021 年度分）を対象に 2025 年 7 月 14 日に研究成果物評価委員会で評価を行い、優れた報告書に「勇美賞」の採択を行った。2025 年度事業として 2025 年 11 月 23 日開催の「第 21 回在宅医療推進フォーラム」において授賞式を行った。勇美賞受賞者５名には表彰状と賞金として 10 万円/件（源泉所得税等控除後）、奨励賞受賞者１名には表彰状と賞金として５万円/件（源泉所得税等控除後）を授与した。

〔結果〕　対象 56 件中、勇美賞５件及び奨励賞１件

【勇美賞 URL】https://www.yuumi.or.jp/jyosei/yuumi-award/

勇美賞授賞式の様子

２．公益目的事業３

テキスト等、在宅医療等に関する情報収集及び普及啓発事業の実施

（１）普及啓発等事業①（催し物の開催）

在宅医療の普及啓発を目的とした催し物を、以下のとおり開催した。

① 「在宅医療推進フォーラム」の実施

在宅医療の更なる理解と推進を図ることを目的に、毎年 11 月 23 日を「在宅医療の日」とし、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターとの主催、一般社団法人日本在宅ケアアライアンス共催で開催した。

〔第 21 回在宅医療推進フォーラム開催実績〕

開催日　　：2025 年 11 月 23 日（日・祝)

会　場　　：東京ビッグサイト　国際会議場

テーマ　　：『2040 年へ　在宅医療は暮らしと地域をどう支える』

概　要　　：病院完結型から脱し、「治し支える医療」を軸に、地域全体で命と暮らしを受け止める時代を迎え、その先頭を走る当フォーラムでは、第 21 回「2040 年へ　在宅医療は暮らしと地域をどう支える」と題し、特に在宅介護・在宅医療の質に関する、医療・介護の関係者、地域行政の担当者、地域住民が共通に抱く課題を取り上げ、課題解決の糸口を探したいと考え開催した。

2024 年度中に全国 15 か所で開催したブロックフォーラムの中から独創性、継続性、市民参加等の要素を基に選抜した特徴的な４地域の活動を報告した後「勇美賞授賞式」を実施。午後からは、大橋博樹（日本プライマリ・ケア連合学会副理事長）座長の下、総括講演「在宅医療　新たなミッション～治し、支えるから、次の課題へ～」（日本在宅ケアアライアンス理事長新田國夫氏)、基調講演「包括的居住支援における在宅ケア」（厚生労働省医務技監迫井正深氏）と続き、その後、迫田朋子（ジャーナリスト）座長による多世代から在宅医療へのおもいを語るセッション「未来へ紡ぐみんなのおもい～在宅医療の若き担い手は語る～」、そして、武田俊彦（日本在宅ケアアライアンス副理事長、飯島勝矢（日本在宅ケアアライアンス理事）両座長によるシンポジウム「めざすのは笑顔とつながり」として５名に登壇いただき発表後、ディスカッションを行った。

参加者　　：585 人（出演者、関係者含む）

アーカイブ：当日撮影した動画を編集後、１月より財団ホームページにて配信

視聴回数　計 504 回（4 月 30 日現在）

【開催概要 URL】https://www.yuumi.or.jp/doctor_forum/forum_21th/

【資料集 URL】https://www.yuumi.or.jp/wp-content/themes/yuumi/file/pdf/doctor_forum/forum_21th/21th_document.pdf

第 21 回在宅医療推進フォーラムの様子

②　「日本在宅ケア・サミット」の実施

一般社団法人日本在宅ケアアライアンスと初の共催、日本在宅ケアアライアンスの活動成果の報告、特別講演、多職種シンポジウムを通じて多職種間の連携強化、情報交換や新たな提言の共有、発信の場として開催した（参加者：会場、オンライン含めて５００名）。

〔日本在宅ケア・サミット 2025〕
・開催日：2025 年 7 月 27 日（日）
・会　場：東京大学伊藤謝恩ホール
・テーマ：『おもいを叶える在宅ケア－2025 年に改めて考えるー』
・内容等：午前中は、おもいを叶えるために～倫理の視点から～をテーマに、板井孝壱郎（宮崎大学医学部教授）、稲葉一人弁護士による「モーニングレクチャー」を開催し、医療と司法の両面から学ぶ機会を設けた。午後は、アライアンスの事業報告として、我が国独自の全職種共通の QOL 指標開発や医療的ケア児・者、その家族を取り巻く種々の課題達成のためのプロセスの整理などの成果の共有を行ったほか、基調講演では、香取照幸氏（元厚生労働省局長・未来研究所臥龍代表理事）より在宅ケアを取り巻く課題や、地域包括ケアネットワークの再構築など、持続可能な在宅ケアの実現に向けた方向性が語られた。シンポジウムでは、住まいのあり方をめぐる現在の様々な課題と、そこに医療やケアはどう関わるかについて、いわゆる「ホスピス型住宅」の問題も交えた議論が行われた。

③ 「ブロックフォーラム」の実施

一般社団法人全国在宅支援医協会に協力を依頼し、2010 年から開始、2025 年度で 16 年目を迎えた。より地域連携強化を図るために都道府中心の開催への移行を進め３年目となった。都道府県行政、医師会の管轄エリアと合わせることで、さらに連携を深め、地域の市民の皆様にも、より身近なフォーラム、身近なテーマ・内容での開催を目指し取り組んだ。全国各地活動を広く共有する報告会として 2026 年 2 月 28 日（土）に「第３回日本在宅医療コングレス」を開催した。

〔ブロックフォーラム開催実績〕

① 北海道（札幌市）

タイトル： 第 14 回北海道在宅医療推進フォーラム in 札幌
みんなに知って欲しい　認知症のこと、在宅医療のこと

開催日　： 2026 年 1 月 11 日（日）

開催方法： 会場開催

会　場　： イオンモール札幌平岡

② 北海道（由仁町）

タイトル： 第 14 回北海道在宅医療推進フォーラム in 由仁
最期まで　由仁びとでいよう

開催日　： 2025 年 11 月 28 日（金）

開催方法： 会場開催

会　場　： 由仁町文化交流館ふれーる

③ 山形県

タイトル： 山形県在宅医療推進フォーラム 2025
地域でともに考え、関わる意思決定～ 在宅医療における臨床倫理の基本～

開催日　： 2025 年 11 月 30 日（日）

開催方法： 会場開催

会　場　： 山形市医師会館 ４階大ホール

④ 栃木県

タイトル：　第 30 回在宅ケアネットワークとちぎ
第 4 回在宅医療推進フォーラム in 栃木
尊厳をまもるケアって何だろう？

開催日　：　2026 年 2 月 11 日（水・祝）

開催方法：　会場開催

会　場　：　自治医科大学　地域医療情報研修センター大講堂

⑤ 茨城県

タイトル：　茨城県在宅医療推進フォーラム

開催日　：　2026 年 3 月 22 日（日）

開催方法：　会場開催

会　場　：　ワークプラザ勝田 大会議室

⑥ 東京都

タイトル：　第 13 回東京都在宅医療フォーラム 2025
東京における災害と在宅医療～私たちは在宅療養者をどう守るか～

開催日　：　2025 年 9 月 20 日（土）

開催方法：　会場開催

会　場　：　全国町村会館　2 階大ホール

⑦ 新潟県

タイトル：　新潟県在宅医療推進フォーラム 第 17 回在宅ケアを考える集い in 越後　共に支え、共に暮らす地域へ～2025 年、その先の未来を描く物語～

開催日　：　2025 年 11 月 2 日（日）

開催方法：　会場開催

会　場　：　アートホテル新潟駅前

⑧ 山梨県

タイトル： 第２回山梨県在宅医療推進フォーラム
改めて私らしいって何だろう～私らしくここで生きて逝くための ACP（人生会議）～

開催日 ： 2025 年 11 月 3 日（月）

開催方法： 会場開催

会 場 ： ジットプラザ 3階Ｓホール

⑨ 滋賀県

タイトル： 第４回滋賀県在宅医療推進フォーラム
意思決定支援に関する多職種でのアプローチ

開催日 ： 2026 年 3 月 8 日（日）

開催方法： 会場開催

会 場 ： 明日都浜大津４階ホール

⑩ 京都・奈良

タイトル： 第３回京都・奈良在宅医療推進フォーラム 2026
コロナ禍での在宅医療 コレカラの在宅医療

開催日 ： 2026 年 3 月 29 日（日）

開催方法： 会場及びオンラインのハイブリッド開催

会 場 ： 奈良市商工会議所 大・中ホール

⑪ 大阪・兵庫

タイトル： 在宅医療推進フォーラム in 大阪・兵庫
在宅医療の主役はあなた～患者さんに寄り添う医療とは～高校生からの発信

開催日 ： 2025 年 10 月 12 日（日）

開催方法： 会場開催

会 場 ： 大阪コロナホテル ２階会議室

⑫ 中国ブロック（広島）

タイトル： 第５回中国ブロック in ひろしま在宅医療推進フォーラム
第２回日本在宅医療連合学会中国地方支部会

開催日 ： 2025 年 11 月 30 日（日）

開催方法： 会場開催

会 場 ： 広島県医師会館 ２階 201 会議室

⑬ 高知県

タイトル： 高知県在宅医療推進フォーラム
口すてたらいかん！～摂食嚥下・口腔ケアと栄養～

開催日 ： 2025 年 11 月 1 日（土）

開催方法： 会場開催

会 場 ： 総合あんしんセンター ３階大会議室

⑭ 福岡県

タイトル： 2025 在宅医療推進フォーラム in 福岡
にんち症 ア・レ・コ・レ～それって歳のせい？～

開催日 ： 2025 年 12 月 13 日（土）

開催方法： 会場開催

会 場 ： 福岡県中小企業振興センター

⑮ 鹿児島県

タイトル： 第１回鹿児島県在宅医療推進フォーラム
鹿児島県における在宅医療への取り組み～地域包括ケアシステム構築を目指して～

開催日 ： 2025 年 11 月 8 日（土）

開催方法： 会場開催

会 場 ： 鹿児島県医師会館 大ホール・中ホール

⑯ 九州ブロック

タイトル： 第 13 回九州在宅医療推進フォーラム in 鹿児島
九州の在宅医療推進の取り組み～地域包括ケアシステム構築を目指して～

開催日 ： 2025 年 11 月 9 日（日）

開催方法： 会場開催

会 場 ： 鹿児島県医師会館 大ホール・中ホール

⑰ 沖縄県

タイトル： 第４回沖縄在宅医療推進フォーラム in 北部
北部の未来を、みんなで語ろう～住み慣れた地域で、最期まで自分らしく生きるために。

開催日 ： 2026 年 2 月 22 日（日）

開催方法： 会場及びオンラインによるハイブリッド開催

会 場 ： 名桜大学学生会館 SAKURAUM

第 3 回日本在宅医療コングレスの様子

〔第３回日本在宅医療コングレス開催実績〕

開催日 ： 2026 年 2 月 28 日（土）

会 場 ： AP 東京八重洲

テーマ ： 人生を支える在宅医療
～味わう幸せもかみしめる～』

参加者 ： 130 人（出演者、関係者含む）

※プログラムの第 2 部で 2025 年度ブロックフォーラム報告会を行った。

（2）普及啓発等事業②（情報収集及び発信）

在宅医療の普及啓発を目的に在宅医療に関する情報を収集し、発信。

① 情報収集及び情報活用の検討**【委託事業として実施】**

在宅医療推進フォーラムや日本在宅ケア・サミット 2025 の企画及び運営を行った。

② ICT を活用した情報提供

財団のホームページや SNS〔Facebook、X（旧 Twitter）〕を活用して、財団や関係団体の事業・活動などについて情報提供を行った。

※SNS 登録者数約 2,500 名（2026 年 4 月 30 日現在）

財団 SNS による情報発信

③ 冊子、DVD 等による情報提供

在宅医療推進のために当財団が作成した以下の冊子や DVD 等を紹介し、希望者には無料で提供し、在宅医療の普及啓発を図った。

〔現在無料配布している冊子〕　（単位：冊）

冊子名	2025 年度	〔参考〕2024 年度	備考
在宅医療テキスト（第 3 版）	2,708	3,532	
【新版】訪問看護活用ガイド	6,230	9,422	新版作成中
病院から「家に帰りたい」という人のために	2,677	4,385	
暮らしの健康手帳	3,508	4,420	
ともに歩む がん在宅医療	2,454	3,704	

〔現在無料配布している DVD〕　（単位：部）

DVD 名	2025 年度	〔参考〕2024 年度	備考
病気は家庭でなおすもの！　～在宅医療助成 勇美記念財団の 20 年～	613	868	
地域で支える医療的ケア児　～支援法制定と在宅医療～	499	707	
シン・ピンコロ 4　～勇じいさんの胃ろういろいろものがたり Part2.1	514	763	

④ 「ゆうみカレンダー」による情報発信

在宅療養されている方に少しでも楽しく普段の生活を送っていただきたい、また在宅療養されている方やその家族と在宅療養を支える方とのコミュニケーションツールの一つになればという思いから、毎年干支をモチーフにしたカレンダーを作成、配布してきた。前年版に引き続き 2026 年版も、小児在宅医療推進のための会座長である前田浩利氏（医療法人財団はるたか会理事長）の協力により医療的ケア児がデザインしたイラストを使用した。

・配布部数　43,000 部

（3）人材教育事業

在宅医療を推進する人材を育成する（ことを支援する）事業

① ｅラーニングを活用した人材養成

当財団のホームページにある「【e ラーニング】在宅医療テキスト」を活用し、在宅医療を推進する人材の養成及び教育関係者への取組を充実させるため実施した。

② 文献による人材育成

在宅医療推進、将来の在宅医療を支える若手医師の育成のため、書籍『在宅医療～治し支える医療の概念と実践～』を関係機関に献本。在宅医療教育の重要性とともに本書籍のＰＲのため、財団のホームページやブロックフォーラム開催時にＰＲ動画やＰＲチラシの配布を広く行った。

加えて、エフエム立川の「おうち de 医療」の番組でＰＲいただくと共に、書籍『在宅医療～治し支える医療の概念と実践～』のリスナープレゼント（10 名）企画を行った。

３．公益目的事業４

その他在宅医療等の推進のために必要な事業の実施

（１）研究会等事業

在宅医療を推進するために自主事業として研究会等を開催した。

① 「在宅医療推進のための会」の実施

〔第１回〕

日　時　：2025 年５月 30 日（金）19 時～21 時

会　場　：ステーションコンファレンス東京　※ハイブリット開催

テーマ　：「 在宅医療における暴力・ハラスメント対策 ～教育プログラムの作成

へ～」

〔第２回〕

日　時　：2025 年９月 26 日（金）19 時～21 時

会　場　：ステーションコンファレンス東京　※ハイブリット開催

テーマ　：「在宅医療におけるオンライン診療」

〔第３回〕

日　時　：2025 年 12 月 12 日（金）19 時～21 時

会　場　：ステーションコンファレンス東京　※ハイブリッド開催

テーマ　：「小児在宅医療の普及に向けて」

※「小児在宅医療推進のための会」、「小児在宅医療推進のための会（大阪分科会）」との合同開催

〔第４回〕

日　時　：2026 年３月６日（金）19 時～21 時

会　場　：ステーションコンファレンス東京　※ハイブリッド開催

テーマ：「地域における医療介護福祉連携のための情報共有ツールについて」

②　「小児在宅医療推進のための会」の実施

〔第１回〕

日　時　：2025 年５月 16 日（金）19 時～21 時

会　場　：ステーションコンファレンス東京　※ハイブリット開催

テーマ　：「医療的ケア児の成人移行期の課題 ～「18 歳の壁」の解消に向けて」

〔第２回〕

日　時　：2025 年 10 月 10 日（金）19 時～21 時

会　場　：ステーションコンファレンス東京　※ハイブリッド開催

テーマ　：「日本在宅ケアアライアンスによる小児在宅ケアまとめ・提言について」

※「小児在宅医療推進のための会（大阪分科会）」との合同開催

〔第３回〕

日　時　：2026 年１月 16 日（金）19 時～21 時

会　場　：ステーションコンファレンス東京　※ハイブリッド開催

テーマ　：「医療的ケア児の家族の負担に関するアンケート調査について」

③　「小児在宅医療推進のための会（大阪分科会）」の実施

〔第１回〕

日　時　：2025 年７月 18 日（金）19 時～21 時

会　場　：ＡＰ大阪茶屋町　　※ハイブリット開催

テーマ　：「在宅児・医療的ケア児がいることが当たり前の包摂的な街つくり 」

〔第２回〕

日　時　：2026 年２月 20 日（金）19 時～21 時

会　場　：ＡＰ大阪茶屋町　　※ハイブリッド開催

テーマ　:「医療的ケア児から者までの切れ目ない支援のための、大阪におけるコーディネーターの役割」

（2）調査研究事業**【委託事業として実施】**

イ　地域包括ケアの深化とモデル事業の推進

- **在宅ケアにおける食支援**

モデル事業として栃木県内での地域実装をめざして以下の取り組みを実施した。

・　日本在宅ケアアライアンスの提唱する「在宅療養者の食支援の概念」の４つの分野、それぞれに関して、栃木市の地域在宅食支援ミーティングの出席者でグループワークを行い、課題と対策を検討した。

・　「食支援の考え方と実際」と題した研修会を実施、研修動画として編集してHP にて公開した。

・　食支援に係る地域資源の調査（特に、栄養士を雇用している医科診療所の実態把握）、並びに連携づくりのシステムとしての栄養ケアステーションを中心とした仕組みづくりに着手。さらに、在宅医療コーディネータとしてのあじさいセンター、並びに地域包括支援センターを位置づけたシステム案を検討した。

・　多職種協働のための方策として交流会やコーディネートの核となるケアマネジャーの研修会を個別に実施したほか、大塚製薬工場（JHHCA 賛助会員）との共催での Web セミナー（第２弾）を企画・運営した。

- **小児の地域包括ケア検討**

「小児の地域包括ケア提言」作成のために、「小児在宅医療推進のための会」とも連携をしながらワーキング(WG)を実施した（WG 開催３回：5/15, 9/13, 10/10)。小児在宅医療推進のための会（第２回：10/15)、在宅医療推進のための会(第３回：小児合同、12/12)の２回にわたり、提言案について小児在宅を含む多職種の有識者で意見交換・最終検討を行った（『小児／医療的ケア児者のための地域包括ケア まとめ･提言』として、日本在宅ケアアライアンスの web サイトにおいて公表されている)。

https://www.jhhca.jp/research-20260122/

- **在宅ケアにおける災害対策**

東京都における災害時情報共有ネット構築にむけて、東京都の在宅医を対象としたアンケートを実施(8～9 月)した。東京都在宅医療フォーラム（在宅療養支援医協会主催）において、アンケート結果に基づいた東京都の情報連携の現状を報告した。また、厚生労働省が新たに立ち上げた「災害時保健医療福祉関係団体連絡会議」への参画に向けて、厚生労働省内担当課との調整を行った。

また、関連の学術活動として、「日本災害医学会」(3/20 於新潟市)において、能登半島地震における在宅多職種の情報共有についての実践報告が行われた（シンポジウム「在宅医療と災害」、座長：井口清太郎理事、高橋在也 JHHCA 研究事

業部長)。

ロ　在宅医療・ケアの評価基準策定と推進

- **連携モデル開発**

・　茨城県志村フロイデグループを視察。中小病院を中心とした地域包括ケアシステムの構築の考えと方法論を調査した。また、鶴岡市医師会を視察し、患者情報共有ツール（Net4U）を活用した医療介護連携、並びに食支援の取り組みを調査した。豊島区医師会・歯科医師会等を視察し、大都市における医療介護連携の実際を調査し、医療 Dx の有効活用、並びに医療・介護関係団体間の丁寧な連携づくりについて調査した。

- **学術とデータブック**

・　学術委員会を毎月開催し、最新の在宅ケア関連/QOL の研究や分析について検討を行った（計 9 回開催：テーマは下記)。

4/28	石垣泰則	世界における皮下輸液法の実際
5/26	大橋博樹	在宅医療に親和性が高い腹膜透析
6/23	梶原崇弘	在宅療養支援病院って何？～都市型地域包括の中心を担う中小病院の挑戦～
7/28	竹熊千晶	地域の空き家を活用した看取りを行うことでのまちづくり
9/29	安部能成	持続可能なコミュニティー文化人類学､動物行動学の観点から
10/27	飯島勝矢	安心ある在宅療養を目指す我が国独自の「3 つの Life」を意識したアライアンス版 QOL 簡易指標 ~研究開発と多職種連携への応用~
11/17	高良孔明	暮らしを支える
1/26	服部ゆかり	高齢者の人生の最終段階における医療･ケアに関する立場表明（日本老年医学会）について
2/16	秋山正子	看護学生･地域の方を対象としたホリスティックケアと ACP の普及

ハ　医学教育における在宅医療の展開事業

コア会議を 6 回(3/7, 4/30, 5/10, 7/22,11/7,1/8) 開催し、医学教育学会との関係性強化と､在宅医療の展開普及(教科書の普及含め)の戦略を作成した。

具体的には、日本内科学会(4/19)においては、シンポジウム「セカンドキャリアとしての在宅医療」の企画補助（座長：井口清太郎先生、指定発言：辻哲夫先生)、日本医学教育学会(7/25)においては、シンポジウム「素養としての在宅医療・学術としての在宅医療教育」(全国地域医療教育協議会との共催、座長：井口先生、基調講演：大島伸一先生）の企画補助等を実施した。

医学教育及びアカデミアにおいて、質の高い在宅医療の理念等を普及させるための具体的な戦略を下半期 2 回のコア会議において検討し、今後の取り組みについて以下の方針について調整を行った。

- 関連学会における在宅医療の理念等普及と、今後の展開に不可欠な有識者・研究者との連携

  日本災害医学会(2026 年 3 月)において、在宅医療をテーマとしたシンポジウムを企画・実施（上記災害事業とも重複)。

  日本内科学会（2026 年 4 月）において、地域医療構想及び在宅医療をテーマとしたシンポジウムを企画（JHHCA 蘆野理事より、在宅医療の理念とコンピテンシーについて講演)。

  日本医学教育学会（2026 年 7 月）において、在宅医療をテーマとしたシンポジウムやセッション等を企画・実施。

- 在宅医療の理念等を普及するための基礎的な資料作成

  テキスト『在宅医療』（中央法規出版）の内容及び 2025 年 7 月の医学教育学会で行われた大島伸一理事の講演「在宅医療における基礎的な QOL としての３つの LIFE」を基礎とした、医学教育をはじめとした関係者への在宅医療の理念等の周知・広報及び発展的議論・検討のための準備。

Ⅳ．理事会等開催

以下のとおり、理事会及び評議員会、並びに委員会等を開催した。

Ⅰ．理事会

開催年月日 及び方法・場所	議　事
第１回定時理事会 2025 年 6 月 9 日（月） 会場及びオンラインによるハイブリッド開催（会場：都市センターホテル）	〔決議事項〕 ・「2024 年度事業報告（案）の承認」について ・「2024 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録」（案）の承認」について ・「『定時評議員会に提出する理事候補者及び監事候補者名簿』の承認」について ・「専門部会委員の選任」について ・「定時評議員会の開催」について ・「『株式会社オートバックスセブン定期株主総会における議決権行使の委任状』の提出」について ・「会議室兼作業室を賃借する件」について
第２回臨時理事会 2025 年 6 月 24 日（火）決議の省略による開催	〔決議事項〕 ・代表理事の任期満了に伴う選任について ・常務理事の任期満了に伴う選任について ・評議員選定委員の選任について ・会議室兼作業室の転貸借契約締結及び工事着工について
第３回臨時理事会 2025 年 8 月 19 日（火）決議の省略による開催	〔決議事項〕 ・2025 年度（前期）公募助成事業の助成承認について
第４回臨時理事会 2025 年 11 月 13 日（木）会場及びオンラインによるハイブリッド開催（会場：勇美記念財団５階会議室）	〔決議事項〕 ・選考委員２名の新たな選任について（案） ・「育児・介護休業等に関する規程」等の改訂について（案） 〔報告事項〕 ・2025 年度①上期事業報告及び②上期決算報告について
第５回定時理事会 2026 年 3 月 18 日（水）会場及びオンラインによるハイブリッド開催（会場：勇美記念財団５階会議室）	〔決議事項〕 ・2025 年度（後期）公募助成について ・2026 年度事業計画案及び収支予算案について ・評議員選定委員の任期満了等に伴う選任について ・選考委員の任期満了等に伴う選任について ・２％ﾍﾞｰｽｱｯﾌﾟに伴う職員給与規程の改定について

２．評議員会

開催年月日 及び方法・場所	議　事
第１回定時評議員会 2025 年 6 月 24 日（火）会場及びオンラインによるハイブリッド開催（会場：財団事務局）	〔決議事項〕 ・2024 年度事業報告（案）の承認について ・2024 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録（案）の承認について ・「『役員等報酬等及び費用に関する規則』の改訂（案）」について ・「理事及び監事の選任決議」について

３．評議員選定委員会

開催年月日 及び方法・場所	議　事
第１回評議員選定委員会 2025 年 5 月 9 日（金）決議の省略による開催	〔決議事項〕 ・2024 年度第４回定時理事会にて承認された評議員選定委員会に提出する評議員候補者の選任の件

４．選考委員会

開催年月日 及び方法・場所	議　事
第１回選考委員会 2025 年 7 月 15 日（火）会場及びオンラインによるハイブリッド開催（会場：都市センターホテル）	〔報告事項〕 ・2025 年度（前期）公募助成の概要について 〔検討事項〕 ・2025 年度（前期）公募助成の選考について
第２回選考委員会 2026 年 2 月 3 日（火） 会場及びオンラインによるハイブリッド開催 （会場：勇美記念財団５階会議室）	〔報告事項〕 ・2025 年度（後期）公募助成の概要について 〔検討事項〕 ・2025 年度（後期）公募助成の選考について